

R 8 全国大会

NO	山口全中に参加しての感想を聞かせてください。
1	今回の全中はリレーで出場しました。リレーのアップをしている時に、緊張をしていたのか、いつも通りに大きな声を出せず、大きな舞台で声も出せないことはダメぞ、もっと自分たちを他の人たちにアピールしないと顧問の先生に言われました。他の県のリレーチームのバトン練習を見てみると、みんなで声を出して練習をしていました。自分たちのレースがおわりチームベスト、目標としていたTRにも残れませんでした。リレーメンバーで考えた後に個人の原因を考えているとやはり普段の練習態度そして生活面なのかなと思いました。これからリレーをこのメンバーで走ることはできないけど、最後の全中が楽しく終われて良かったです。そして、もっと上で戦えるようにもう一度練習態度そして生活面、練習の時の声の大きさを見直そうと思います。
2	ぼくは男子共通リレーに出場させていただき、結果は納得いく結果ではなかったのですが、全中という大きな舞台で走れたことがいい経験になりました
3	50秒50で目標の49秒50はきれない悔しい結果になってしまったけどこの競技以外も含めて6日間の中で学べたことはいっぱいありました。初めての全中はいい経験になったのでこれを次に活かしてつぎは個人でもいけるように頑張ります
4	今回の山口全中は共通男子4×100mRと100mに出場させていただきました。結果はリレーは予選43秒34、TR43秒907着で100mは予選10秒96(+0.4)全体15位TR10秒97(+0.2)2着という結果でした。どちらとも県記録を更新して決勝に進み、勝負することが目標ではあったので少し悔しい思いはありますが、それ以上にいい経験になりました。こういう全国の舞台でベストパフォーマンス、自分のもっている力を最大限活かしていくことの難しさや応援してくださったチームのみんなだったり、先生方、保護者の方々の支えがどれだけありがたいことなのかより感じることでできたこの4日間でした。リレーTRは最初で最後の3年生フルメンバーで走りきることができてとても最高な気分だったしすごく幸せな4×100mRでした。100mの予選はスタートでつまづいてしまったんですけど後半巻き返して1着としてTRに進むことができたのはチーム宮崎の応援のおかげだと思っているし、この場では結果という形で恩返しはできたんじゃないかなと思います。本当に応援してくださったり、サポートしてくださった人たちのおかげで最後笑顔で楽しく走り切ることができました。今回の全中は110m、男子走り幅跳び、女子4種競技で日本中学新記録がうまれ、全体的にレベルが高い全中を生で見れたということがいい経験になったし、今後の陸上人生に活かしていけるようにしたいです。去年の悔しさを完全に晴らすことはできませんでしたが、ここまでこれたのは自分の力だけじゃ到底届かなかっただろうし感謝しかありません。この全中での経験を活かし、また全国の舞台に立てたときは今度こそ頂点に立てるように色々なことを見つめ直して、人として強くなれるように頑張りたいです。

5	県では上位の方にいたけど、全国大会になると歯が立たないことを身で感じました。県で上位なだけで満足することなく、全国でも戦える選手になるために、日々の練習を少しずつ積み重ねて高校に繋げていきたいです。全中に行けたのは高校でも役に立つと思うので胸張って練習していきたいです。
6	僕は昨年からずっと全中に出ることを目標に練習をしてきました。通信陸上で出場が決まった時、うれしさと同時に、次の目標を決める必要が出てきました。行って終わりではないからです。そこで、決勝進出と県記録を目標に定め、また練習に励みました。いざレースが始まると、出場選手の鋭いスタートに驚きましたが、その中でも途中まで先頭に立ち、自分のレースができて、決勝進出ができました。ただ、県記録には届かず悔しさも残るレースでした。さて、これまで決勝進出を一つの目標として走ってきたため、それを達成したとき、また次の目標を決める機会が与えられました。今度は入賞することを目標に走りましたが、あと一人で逃してしまい、悔しいレースとなりました。ただ、もう一つの目標である県記録は作ることができて、うれしさもありました。僕は、この全中という一連の流れの中で、陸上の魅力に触れられたような気がします。目標を達成できても、いいレースができて、自分に納得できないところがあれば、無限に次があります。僕は今回取り逃した賞状の悔しさを胸に、これからも練習に取り組み続けるつもりです。最後になりましたが、これまで練習を支えてくださった顧問の先生や部員、会場で大声援で応援してくれた宮崎県の選手の皆さん、一緒に走った瀬尾選手をはじめとする宮崎の長距離選手、大会運営に携わってくれたり、見守りサポートしてくださった先生方への感謝が胸中にあることをお伝えします。本当に、ありがとうございました。
7	山口全中では共通女子200mに出場させて頂きました。全国の会場は2度目でしたが、今年が全国大会初レースで、前日練習で初めて山口の競技場を見て、走れるということがとても嬉しかったです。目標としていたタイム・自己ベストは出すことができませんでした。とても良い経験をさせてもらいました。ふり返ると田原先生が日誌に200mで全国を目指すと書いて下さっていなければ、苦手意識があった200mで全国を目指してはいなかったと思います。そして1人だけではなく、周りの人や仲間の支えでここまでこれたと改めて感じました。3年間の集大成を全力で出しきれて、本当に良かったです。この経験をこれからに生かして、もっと戦える選手になりたいと思います。ありがとうございました！
8	全国大会では183cmで22位という結果でした。183まではいつも通りの跳躍ができていました。ですが、186の2回目支柱に頭をぶつけ怪我をしてしまいました。競技前は自分も怪我なんて絶対しないだろうと思っていました。想定外のトラブルで準備不足な自分がとても情けなかったです。少しでも想定していればまだ変わっていたのかもしれませんが、また、他の選手の跳躍に圧倒されて焦りが出ていた自分もいました。この経験で自分の弱さやトラブルが起きた時の落ちつきのなさがまだまだ未熟なので、この経験を活かしてこれからは焦らず次のことを考える選手になれるように頑張ります。

9	初めて全国大会に出場しました。今までの大会とは違った雰囲気で、楽しかったです。 アップでは、選手の人数の多さや暑さなど、心配な面がありましたが、支えてくださる先生方が近くに来てくださったおかげで、いつも通りのアップができました。 レースでは、特に、スタートから3台目までの走りを意識しました。納得いくスタートができましたが、後半、差がつきました。13秒台の選手は後半もスピードにのって走っていたので、自分も戦えるように力を付けていきたいです。 会場では、宮崎の選手達が、大きな声で応援してくれました。とても心強く、力になりました。私も、最終日まで一緒に応援できたことは、とても良い思い出になりました。また、同じ宮崎の選手の活躍もたくさん見る事ができたので、自分も同じような活躍をしたいと良い刺激を受けました。 山口のホテルでの宿泊も、自分で考えながら、体調を整えて過ごすことができました。これからの生活でも、食事や睡眠などに十分気を付け、戦える体を作っていきたいです。 目標は自己ベストを出すことだったので、結果が残せなかったことはとても悔しいです。これからは、自分の課題を解決できるように、もっと練習内容を考え、怪我をしないように、充実した練習をしていきます。 ここまで、たくさんのアドバイスをしてくださった先生方、いつも応援してくれる方に感謝の気持ちをもって、これからも陸上に真剣に取り組めます。
10	今回の全中は、自分の弱さを改めて痛感する大会となりました。今大会の目標は、10秒95をだしてTRに残ることでしたが、結果は45位と、目標とは程遠い結果に終わってしまいました。初めての県外でのレースということもあり、会場の雰囲気に圧倒され、とても緊張してしまいました。しかし、この大舞台に肌で感じられたことは、私にとって非常に大きな財産となりました。特に、ハードルの日本新記録が誕生した瞬間を生で見れたことや、宮崎県団のみんなの走りに、ぼくはいい刺激をもらいました。この全中での経験は、今後の陸上生活に必ず生きると思います。この経験が無駄にせず、これまで支えてくださった先生方、家族、仲間みなさんに感謝しています。応援してくださった皆さんありがとうございました。
11	今年から全国大会参加資格が変わり、標準記録が1秒上がり、この全中陸上の舞台に立つまでに今年はタイムがなかなか切れず、出場するところから、苦戦してしまいました。全中陸上では、目標記録、順位にも届かず、勝負すらできませんでした。 自分の走りが出来ず、とても悔しさで溢れるレースとなりました。 他の宮崎の全中に参加する選手が正々堂々自分のベストを尽くし、決勝で戦う姿や自己ベストを更新する姿を見て、凄いなとわくわくして、応援したい気持ちとその一方で自分は何をしに来たんだろうとさらに悔しさが高まりました。 全中陸上を終えて、結果として、何も残らず、予選敗退という成績になってしまいましたが、この大会に出場するまでに、たくさんの宮崎の先生方の励ましやアドバイス、そして、近くで支えてくださった陸上部のみんなや、顧問の先生、家族、応援して下さる方々のおかげで、この大会に出場して、走ることができました。 本当に感謝の気持ちでいっぱいです。 中学校陸上も残りも少なくなってきましたが、最後は、笑顔で自分の目標を達成して走り支えて下さるすべての皆さんに感謝と勇気を伝えられるように頑張りたいです。
12	全国大会は九州大会とちがって会場の雰囲気や応援の声の大きさなどがちがくてこの6日間で勉強になりました。 九州大会での改善点を改善できるようにサポートや応援をがんばりました。 この6日間で学んだことをみんなに伝えていきたいです。

I 3	山口全中に200mとリレーに出場させていただきました。去年の沖縄全中でとても悔しい思いをしてそこからの1年間この山口全中まで全力を注いで努力をしてきました。200mでは予選1着21,84決勝進出、県中学新記録と自己ベストをだして決勝に行くことができました。決勝の日はリレーの予選と被っていて決勝の前に予選を走りその疲労がかなりきてしまい22,16と残念なタイムに重ねて5位とすごく悔しい結果でした。ここまで努力してきたし全力は尽くしてきましたでもやっぱり悔しかったです。でも全国5位で悔しいと思えるのも僕を今まで支えてくれた方々にすごくすごく感謝してもしきれません。決勝の後にもリレーのTRにでさせていただきました。 納得のいく結果ではなかったけど最後に3年生で思い出のレースをさせてもらい本当にありがとうございました。山口全中が終わりではなく僕はここから全国優勝をするための糧になりました。悔しい結果では終わらせません色んな人に恩返しをするためにやっぱり全国優勝をして恩返しをしたいと思います。本当に出場させてもらえなかったらこんな気持ちにはなれていません。先生方のサポートもとてもありがたかったです。本当にありがとうございました。
I 4	私にとって最初で最後の全中でした。その中、私が出た種目のリレーは今年で最後の全中の種目でした。ほとんどの競技が個人で戦う中、リレーは仲間と共に戦う競技。最高のメンバーで宮崎県代表として挑みました。そして目標は49.50とTR出場でしたが叶うことはなりませんでしたが、でもみんなで何回も歩数を合わせてバトンパスの練習を見せ合いっこして、お互いにアドバイスをあげたりして仲間同士で支え合っていた時間は絶対に無駄で無いです。私の個人での走りはこれまで走ってきた1走の中で過去一良い走りができてリアクションタイムもリレーの中で1位を取ることができました。これは今後のスタートの自信に繋がります。他競技を見ていると日本新記録更新など直接見れることが中々無いものも見ることができてほんとに貴重な体験になりました。決勝を見ていると「すごいな」という憧れの気持ちばかり出ていましたが、高校では私は逆の立場になり憧れる人になります。この4日間は私にとって最高な夏になりました。応援や支えてくれた仲間たち、先生方、保護者たちに感謝です。
I 5	私は走り幅跳びに出場しました。5メートル46で自己ベストを更新することができました。あと1センチで8位入賞だったのでとても悔しかったです。大きな大会で自己ベストを出せたことは自信になりました。今回の大会では、高いレベルの競技を見れて、応援もでき、とても貴重な経験になりました。この経験をこれからの競技生活に生かして、次はもっと上の順位を目指して頑張りたいです。